

令和2年度

藤里町の人口減少やまちづくりに関する

アンケート調査報告書

令和3年3月

藤 里 町

# 目次

---

1. 調査の概要 .....	1
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査の方法 .....	1
(3) 調査期間 .....	1
(4) 配布、回収票数 .....	1
(5) その他 .....	1
2. 回答者の姿 .....	2
(1) 年齢と性別 .....	2
(2) 結婚の有無 .....	3
(3) 世帯構成 .....	4
3. 藤里町への愛着度について .....	5
(1) 住み続けたいか .....	5
(2) 藤里町に住んでほしいか .....	7
(3) 愛着度 .....	8
4. まちづくりの現状の評価について .....	9
(1) 普段のおでかけ環境の満足度 .....	9
(2) 人口減少に伴う人手不足 .....	11
(3) 移住定住 .....	13
5. 敬老式・金婚式について .....	14
(1) 敬老式の開催時期について .....	14
(2) 金婚式の開催時期について .....	15
6. 情報の発信について .....	16
(1) 情報の入手方法 .....	16
(2) 「とじこじ」・「とんじこんじ」の認知度、普及度 .....	17
7. まちづくりや若い世代の町への定着に関する取り組みに対するご意見やご感想 .....	21
巻末資料 ～調査票～ .....	27

# 1. 調査の概要

---

## (1) 調査の目的

町では、平成 27 年度に「藤里町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問題を解決し、藤里町の特徴を生かした活力あるまちづくりや、暮らしやすく、子育てしやすいまちづくりの実現に取り組んでいる。

計画の一層の推進を実現するために、取り組みの効果や評価を把握することを目的として、経年のアンケート調査を実施した。

## (2) 調査の方法

藤里町に在住する町民 500 人を無作為で抽出し、郵送配布、郵送回収により実施した。

## (3) 調査期間

令和 3 年 3 月 1 1 日配布 ～ 3 月 2 9 日回収締め切り

## (4) 配布、回収票数

回収票数 255 票（回収率 51%）

## (5) その他

回答の構成比は小数第 1 位を四捨五入しているため、合計は必ずしも 100%にはならない。

## 2. 回答者の姿

### (1) 年齢と性別

年齢は、令和元年度調査と比べると 50 代以下の回答が減り、60 代以降の回答が増えている。

性別は同じような傾向で、女性がやや多く 53%を占める。

職業も同じような傾向となっており、無職が 30%、会社員が 21%と多く、合わせて全体の約半数を占める。

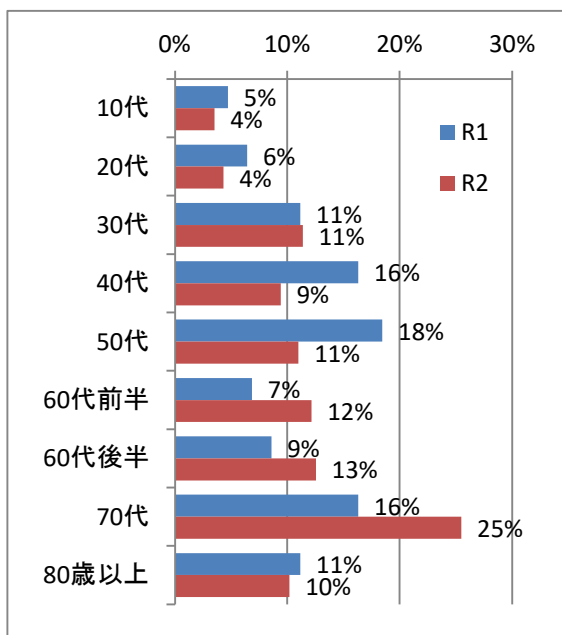


図 年齢

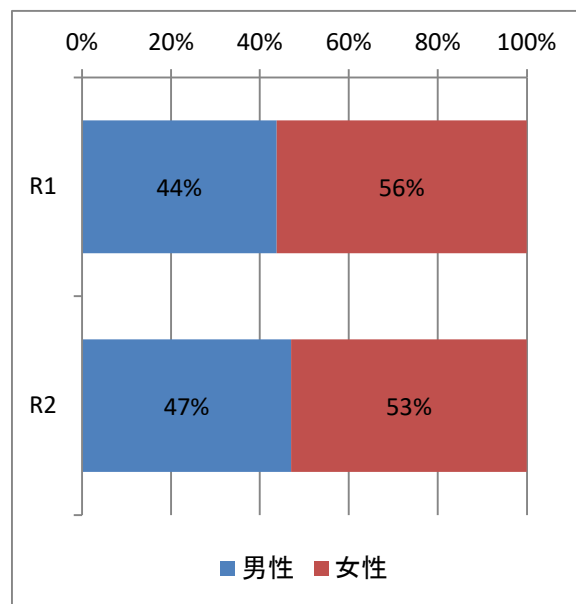


図 性別

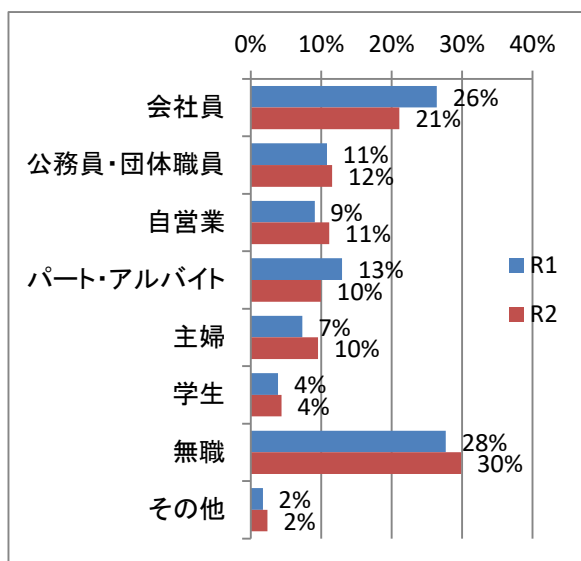


図 職業

## (2) 結婚の有無

結婚をしている、もしくは結婚の経験がある割合は、令和元年度は79%、令和2年度調査では76%と大きな変化はない。年代別では、20～40代の婚姻率が下降している。

男女別にみると、男性の方が結婚率は低い状況は変わらず、男性が69%に対して、女性は85%である。

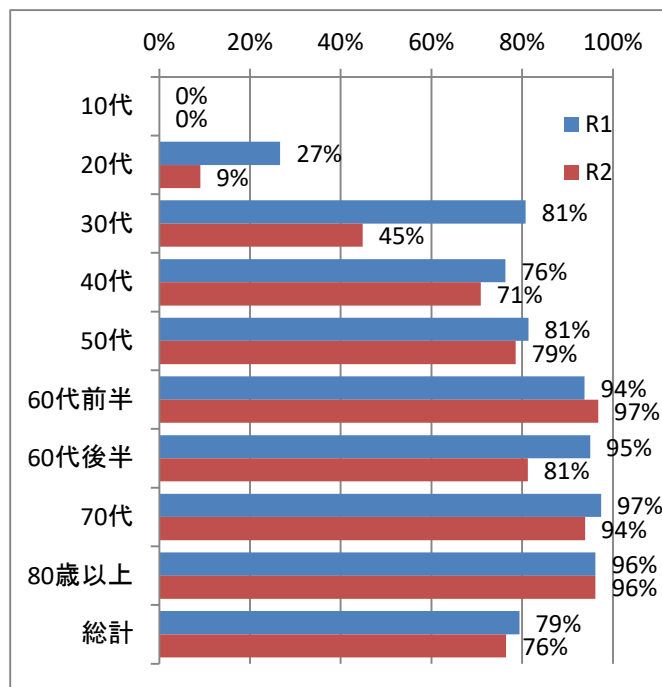


図 婚姻状況

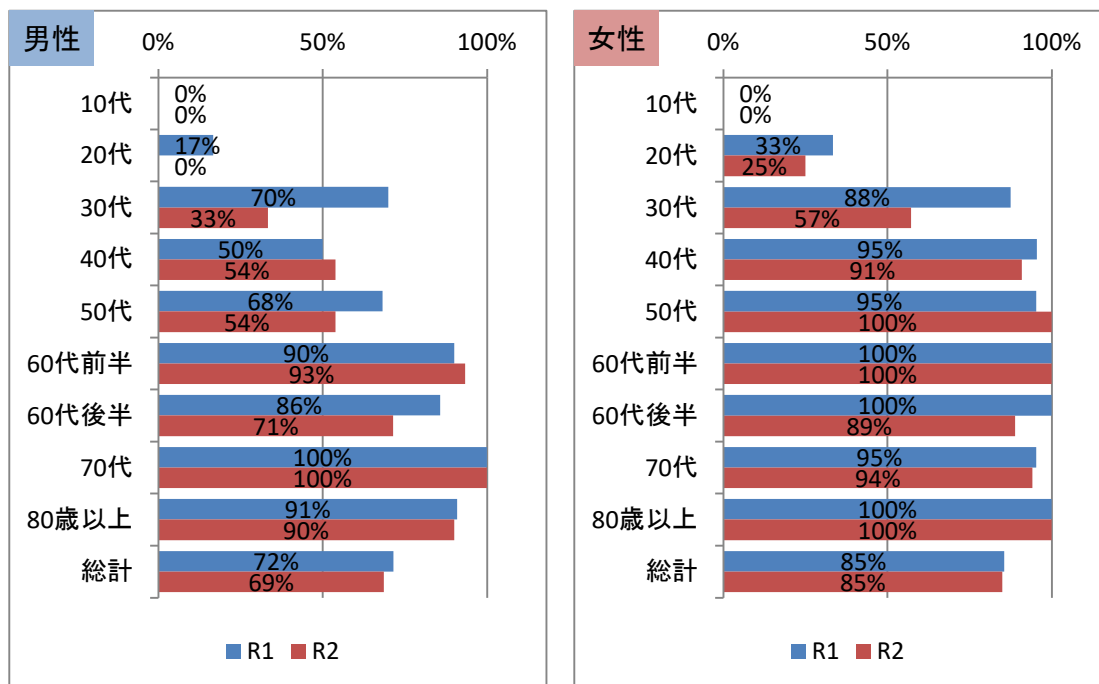


図 男女別の婚姻率

### (3) 世帯構成

総計で見ると、2世代世帯が51%を占めて多い。単身世帯は70代が最も多く15%を占める。

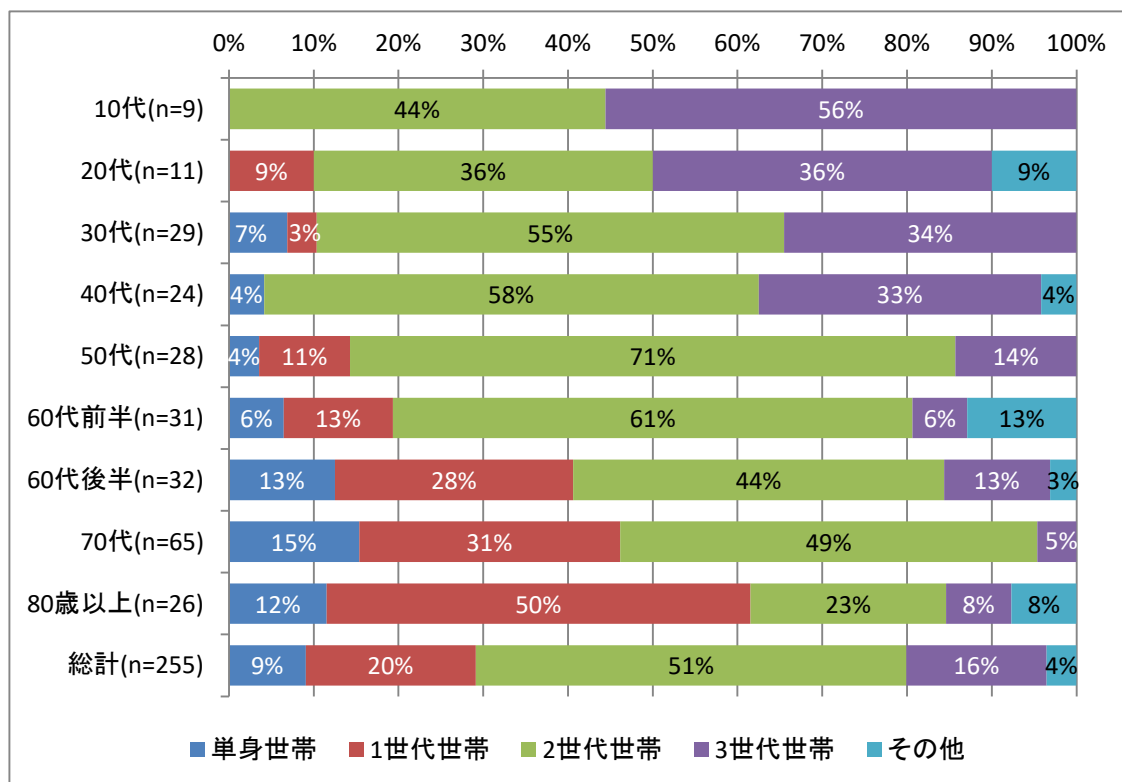


図 同居している世帯構成

### 3. 藤里町への愛着度について

#### (1) 住み続けたいか

「このまま町に住み続けたいと思う」割合は、平成 28 年度は 75%、平成 29 年度は 66%、平成 30 年度は 69%、令和元年度は 64%、令和 2 年度は 63%と減少し続けている。

令和 2 年度の調査では、「進学や就職などで町外に住んでもいずれは藤里町に戻りたいと思う」という割合が 10 代では 44%と前年度の 36%から増え、40 代から 60 代前半で「このままこの町に住み続けたいと思う」という割合が下がった。

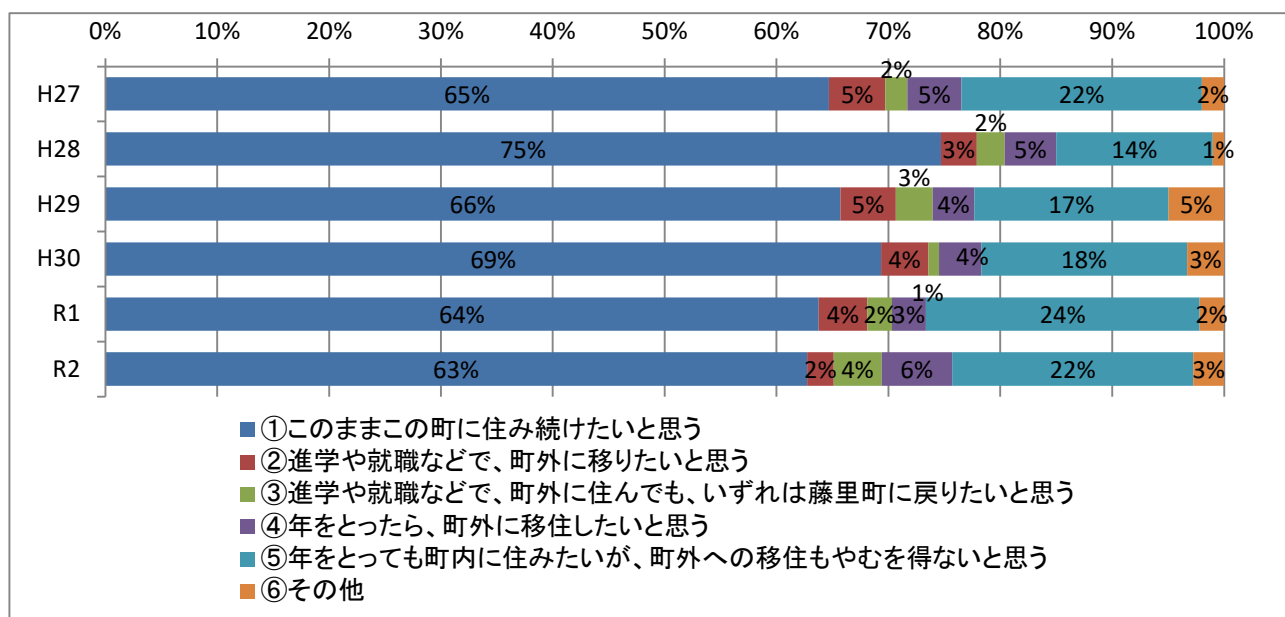


図 藤里町に住み続けたいか

#### \*その他の内容

- ・ どちらともいえない (30 代)
- ・ わからない (30 代、80 代)
- ・ 町の状況によっては移住も考えるかもしれない (70 代)

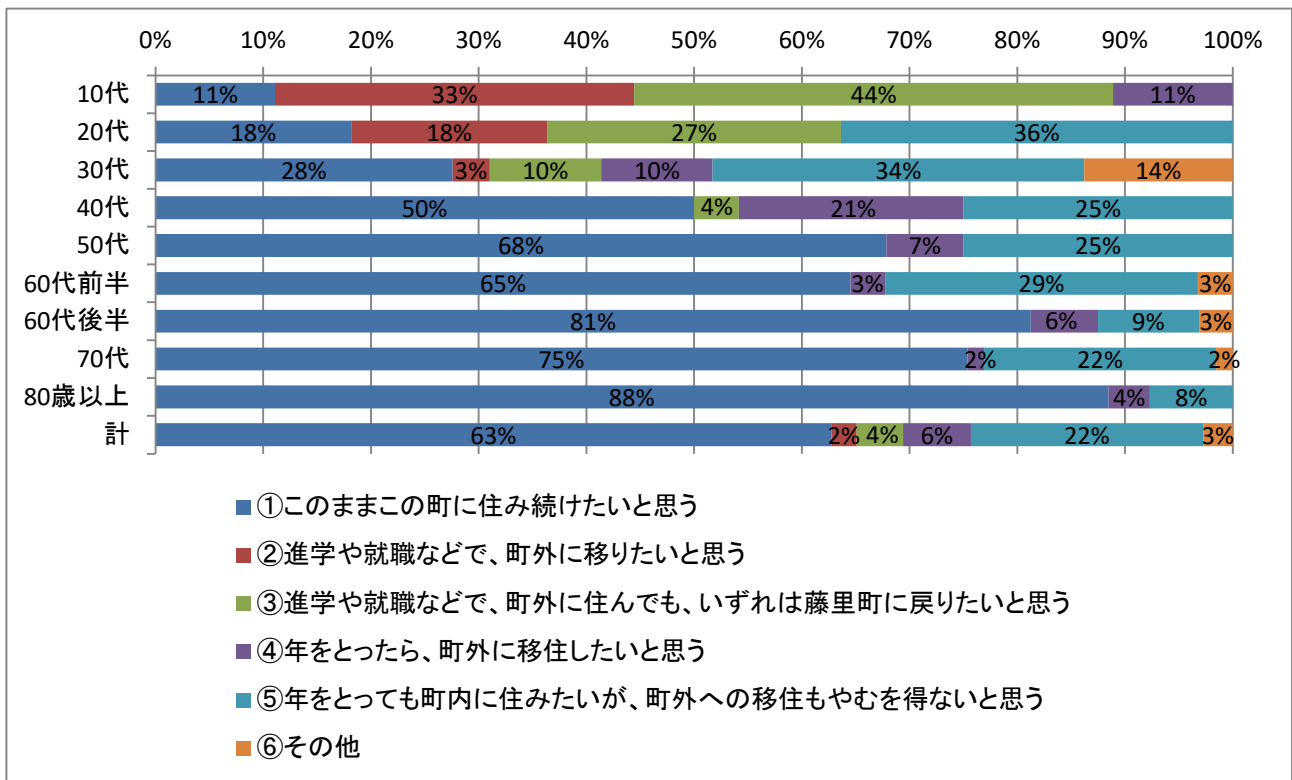


図 このまま住み続けたいか（年代別・令和2年度）

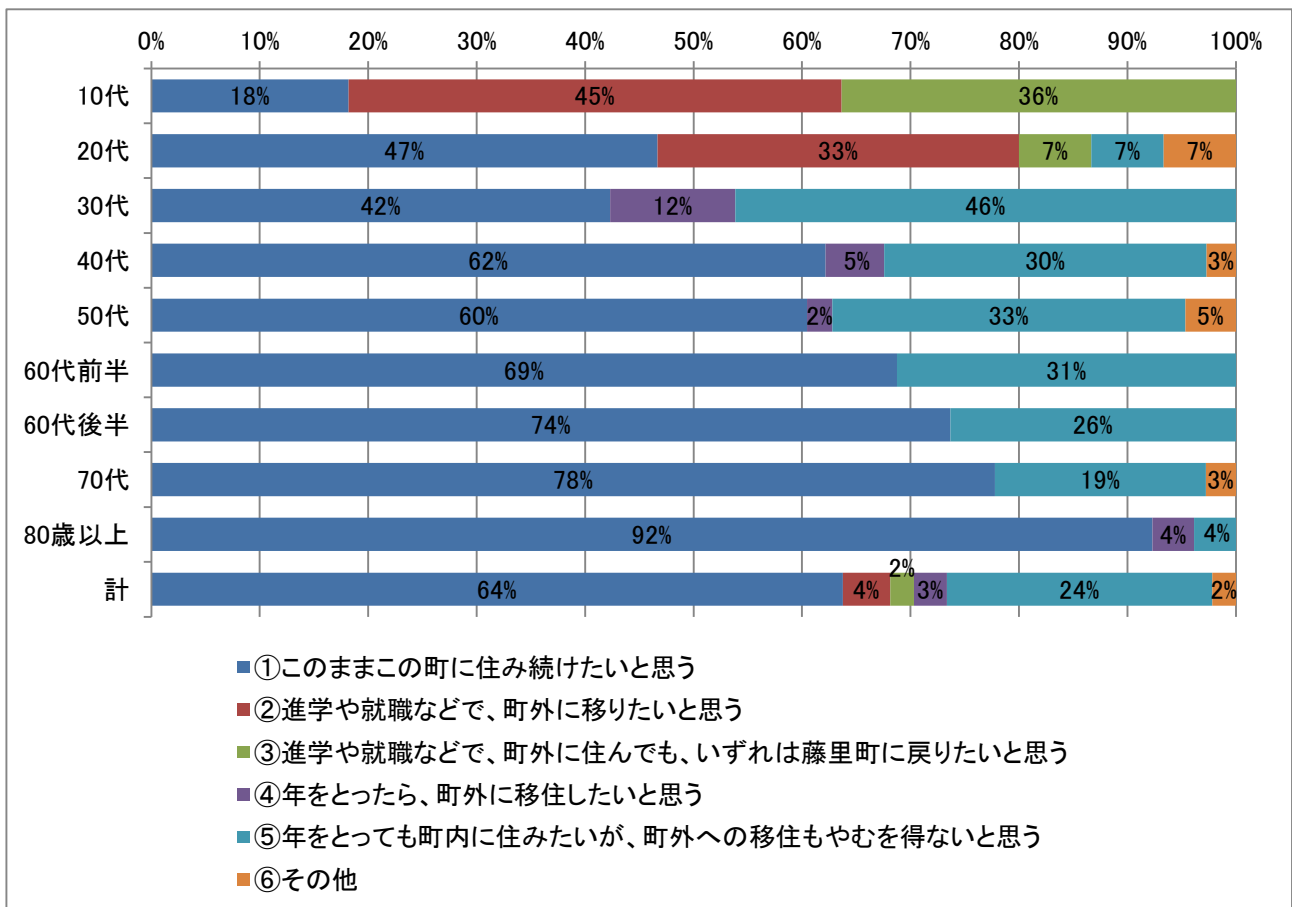


図 年代別 このまま住み続けたいか（年代別・令和元年度）



## (2) 藤里町に住んでほしいか

将来、あなたの子どもや知り合いなどに、藤里町に住んでほしいと思うかについては、令和2年度は「住んでもらいたいと思う」割合が増え、「町外に住んでもらいたいと思う」割合が減っている。

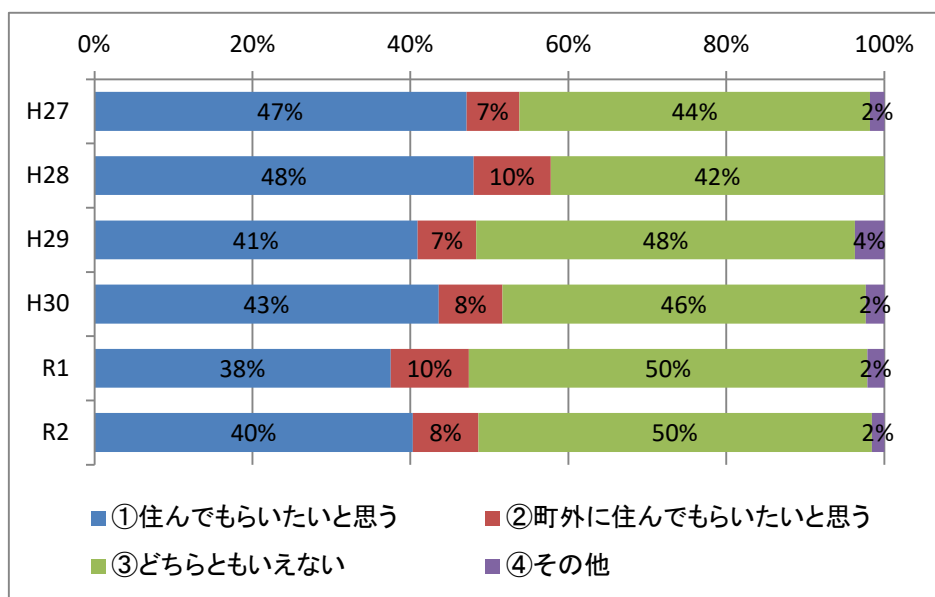


図 藤里町に住んでもらいたいか

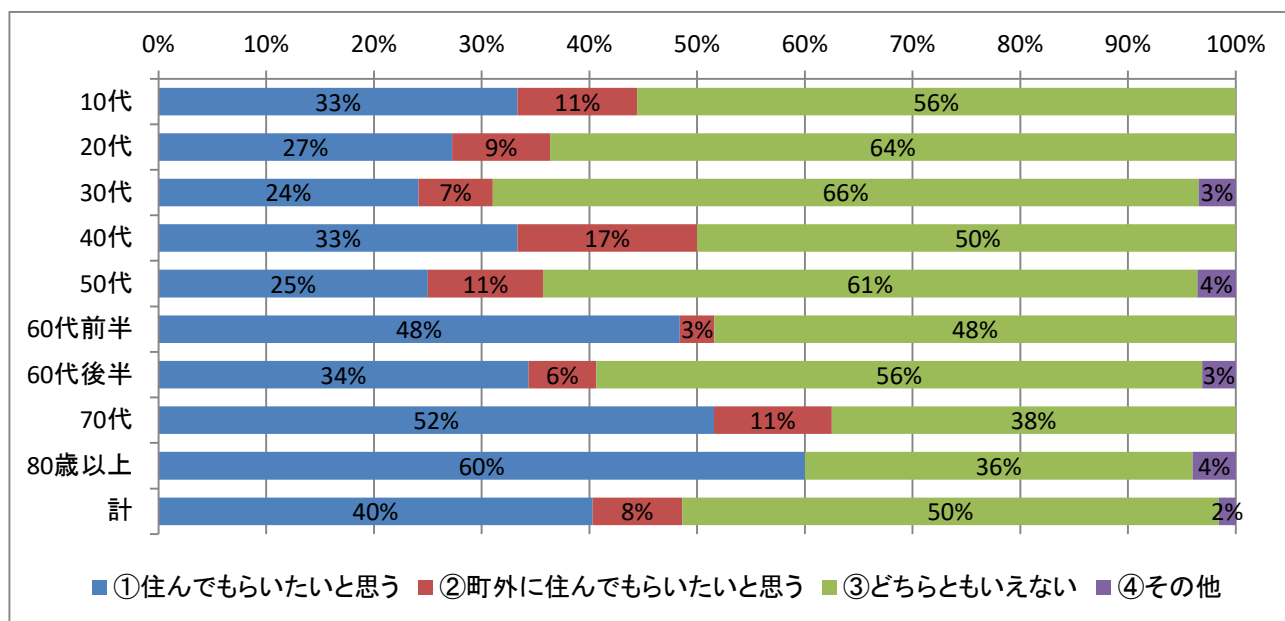


図 藤里町に住んでもらいたいか (年代別)

\*その他の内容

- ・ 先のことは考えにくい (80代以上)
- ・ 本人の希望 (50代)

### (3) 愛着度

藤里町に愛着を感じるかどうかについては、平成 27 年度には「強く感じる」が 41%だったのに対して、平成 28 年度から減少し続けているものの令和元年度から令和 2 年度にかけては微増している。しかし、「まあまあ感じる」を加えると、いずれも 80%以上と愛着度は高い。中でも 10 代から 20 代の愛着度「強く感じる」が高く、ふるさとへの愛着醸成の取組みの成果がうかがえる。一方、30 代の愛着度「強く感じる」が著しく低い。

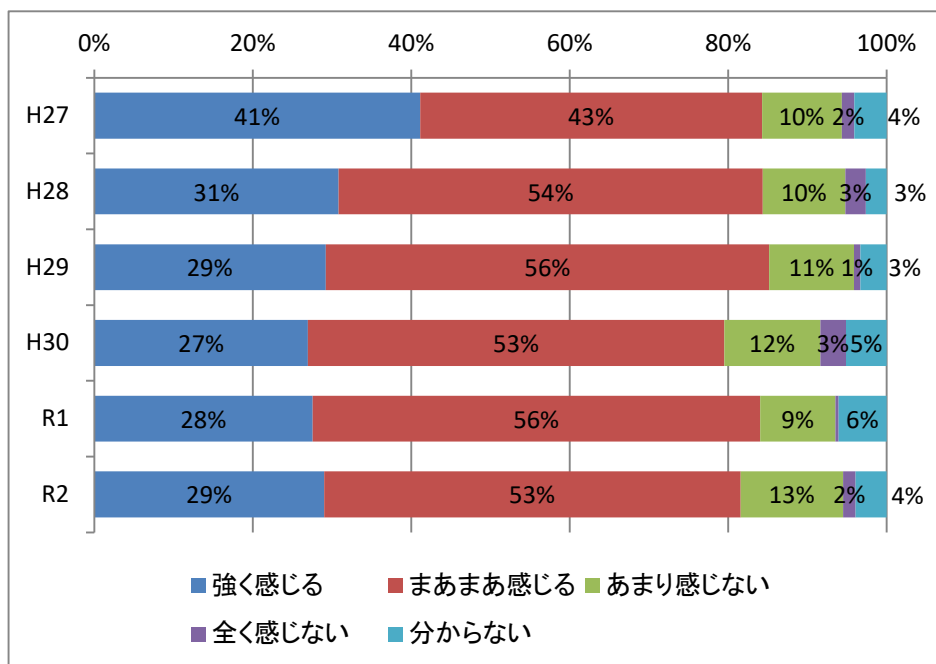


図 愛着度

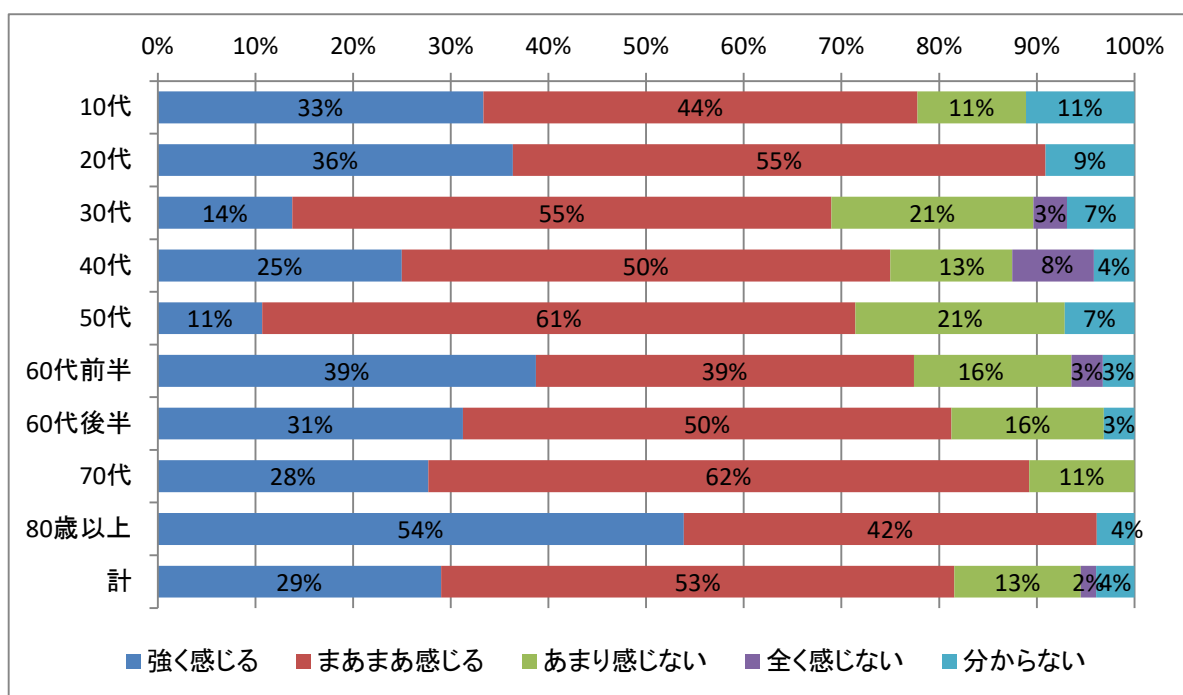


図 愛着度 (年代別)

## 4. まちづくりの現状の評価について

### (1) 普段のおでかけ環境の満足度

普段のおでかけ環境に満足しているかについては、平成 27 年度から平成 29 年度まで「満足している」が 26%から 17%に減少していたが、平成 30 年度では 24%、令和元年度では 57%に増加し、令和 2 年度には、61%まで増加した。また、平成 27 年度から「やや満足している」が 34%から 23%に減り続けていたが、令和元年度では 30%、令和 2 年度には、31%まで増加した。

外出時の移動手段は自家用車が突出して多く 93%、次いでバス・タクシーなどの公共交通機関が 7%となっている。

「藤里町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた数値目標は、平成 27 年度現状値が 60%であるが、令和元年度には 80%を達成することを目標としていた。

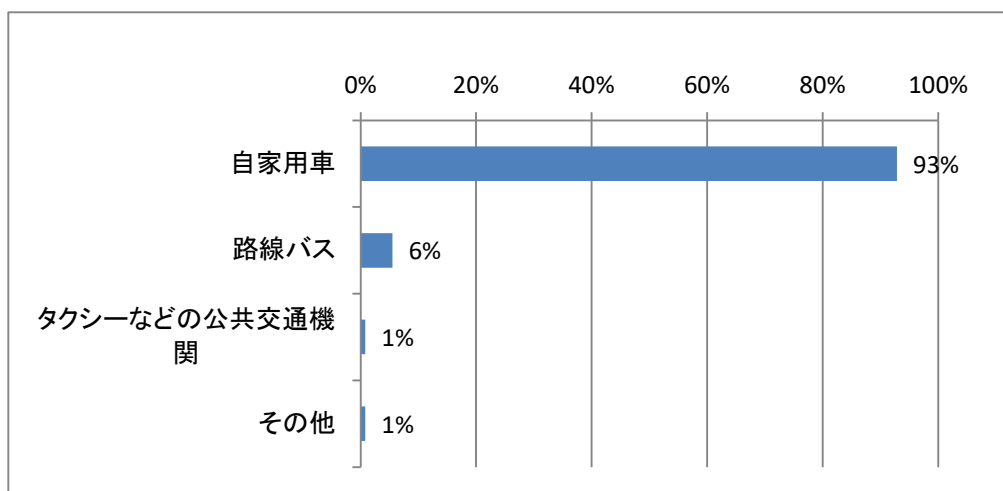
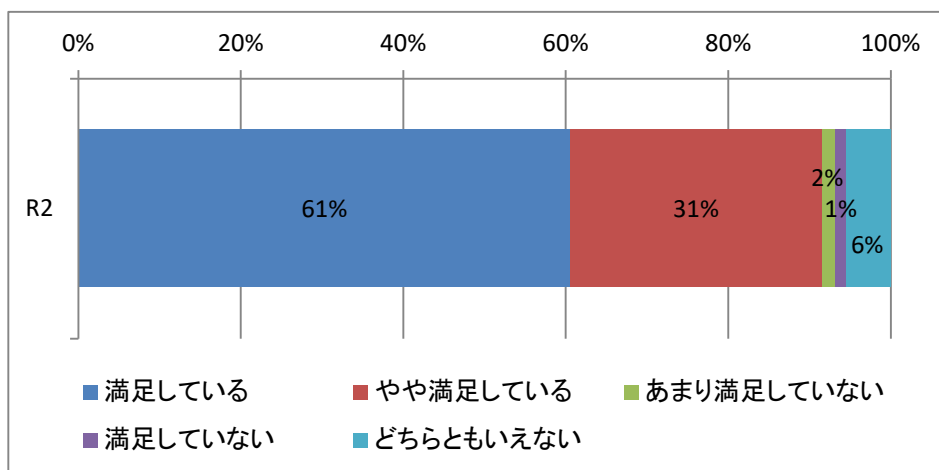


図 外出時の移動手段

\*その他の内容

- ・ 娘の車
- ・ 歩き



おでかけ（移動手段）環境の満足度

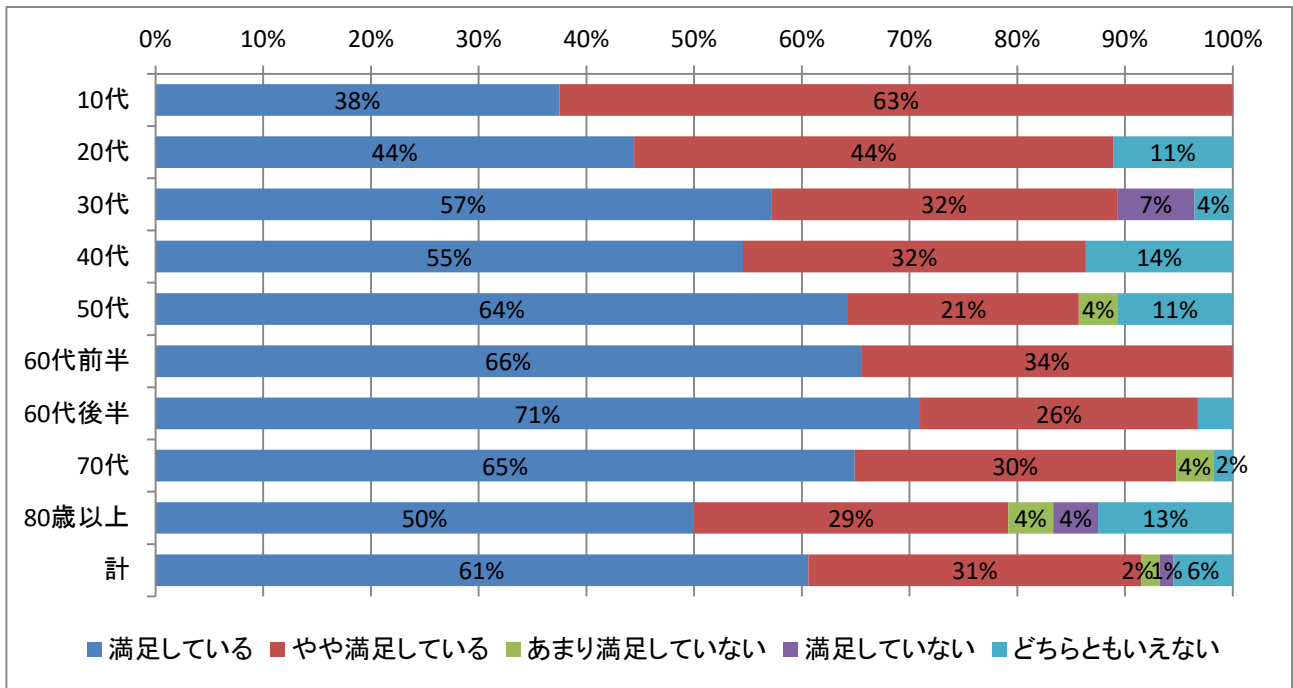


図 おでかけ（移動手段）環境の満足度（年代別）

「あまり満足していない」、「満足していない」、「どちらともいえない」を選んだ方の理由

20～30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故を起こしたら大変だから。</li> <li>・ 自家用車以外の手段がない。</li> <li>・ 買い物をするにも遊んだりするのも町外へ出る為多くの時間を取られてしまう。</li> <li>・ それしか方法がない。</li> </ul>
40～50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徒歩で買い物に行ける店があるといい。</li> <li>・ 買い物、通院で必ず自家用車での移動手段がないため</li> </ul>
60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で運転できる今は不便に感じていない。今後を考えると不安です。</li> </ul>
70代以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつまで運転できるか不安。</li> <li>・ 自分で運転するのではなく、夫に乗せてもらうので予定を考えないといけない。</li> <li>・ 町外は家族の送迎をお願いしている。</li> </ul>

## (2) 人口減少に伴う人手不足

普段の生活の中で、人手不足を感じることはあるかについては、「強く感じる」、「まあまあ感じる」が減り、全体では半数程度が人手不足を感じている。

どの分野で感じるかについては、「集落の行事を担ってくれる人」が昨年度に引き続き特に多く、「草刈りなどの地域の共同作業」、「高齢者の見守りや日常生活を支援する人」、「何か困ったときに声をかけたら手伝ってくれる人」も比較的に多く昨年度と同じ傾向が見られる。

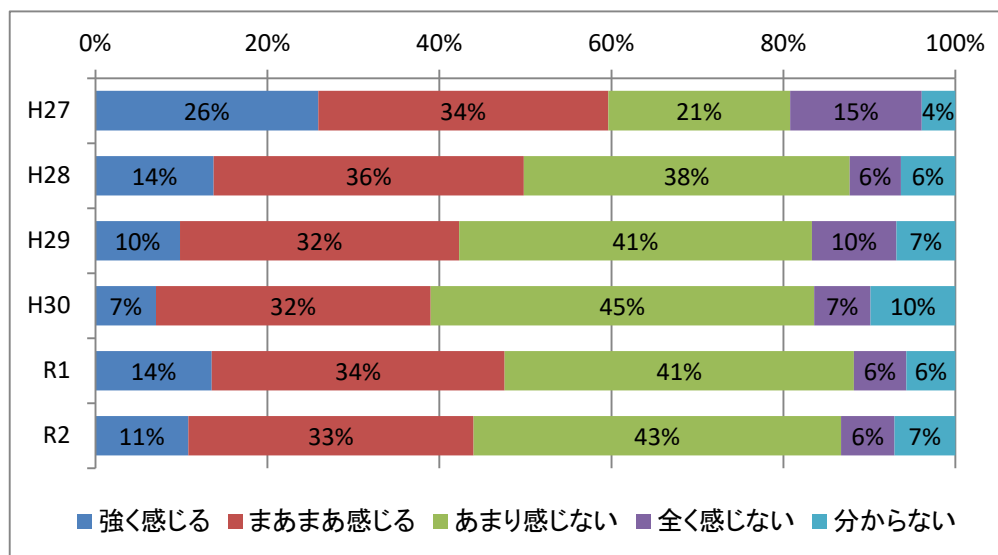


図 人手不足を感じるか

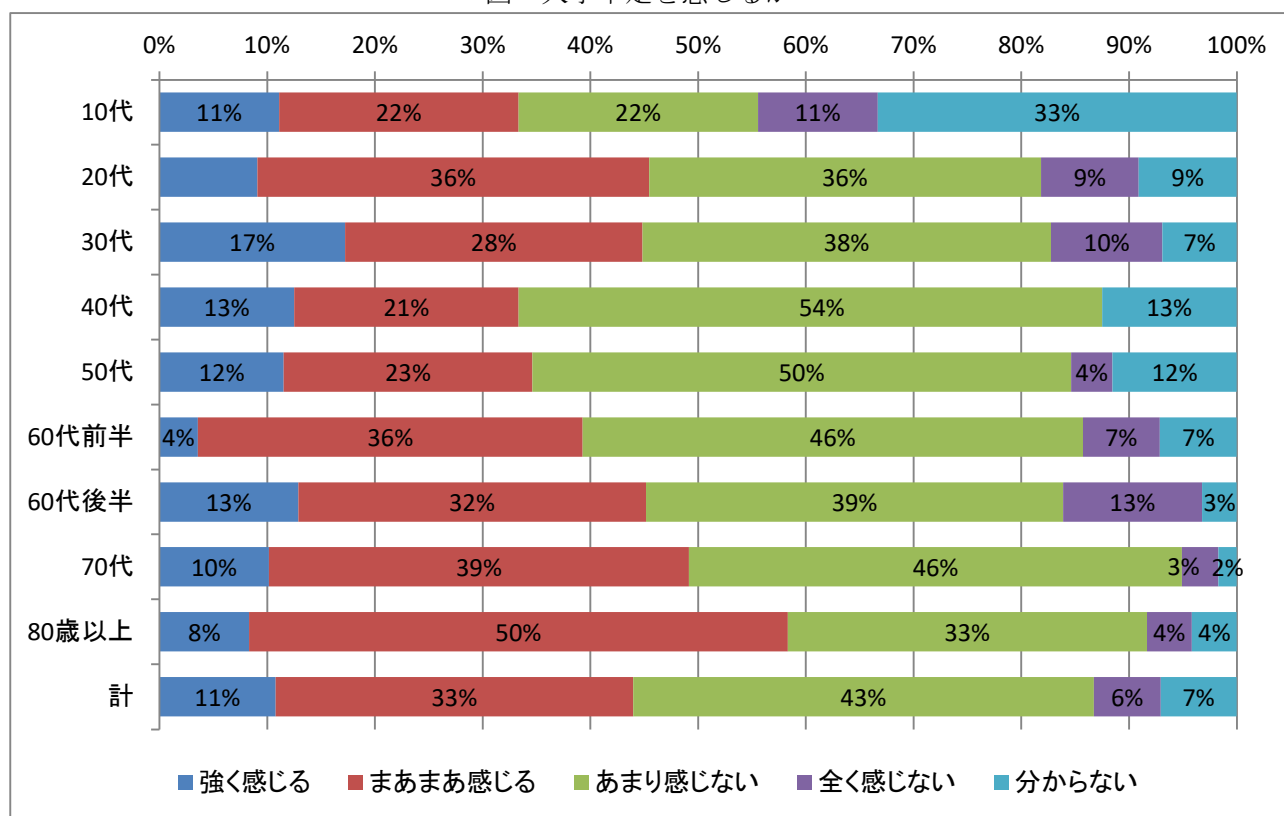


図 人手不足を感じるか (年代別)

[人手不足を感じる分野]

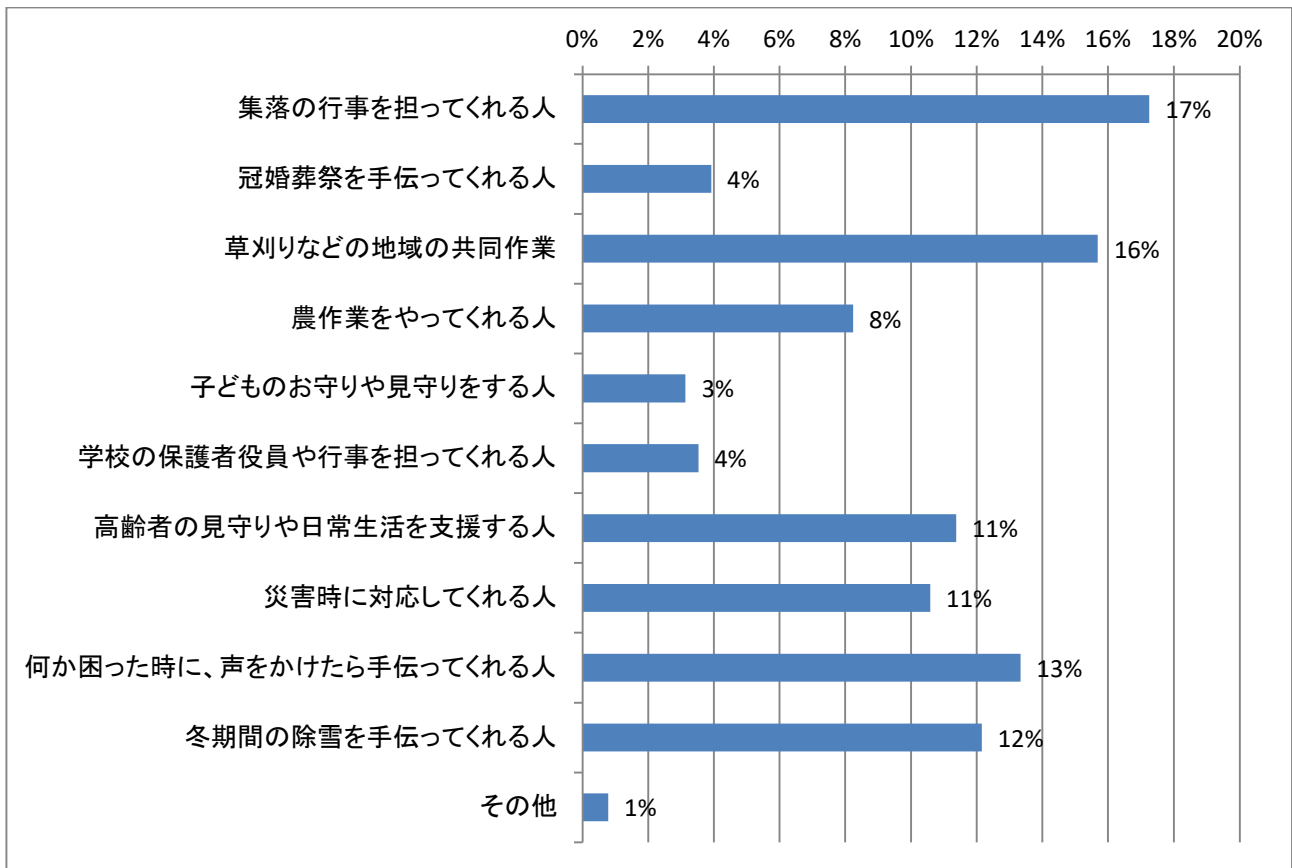


図 人手不足を感じる分野

\*その他の内容

- ・ 職場で人手不足を感じます (50代)

### (3) 移住定住の取組みで重要だと思うこと

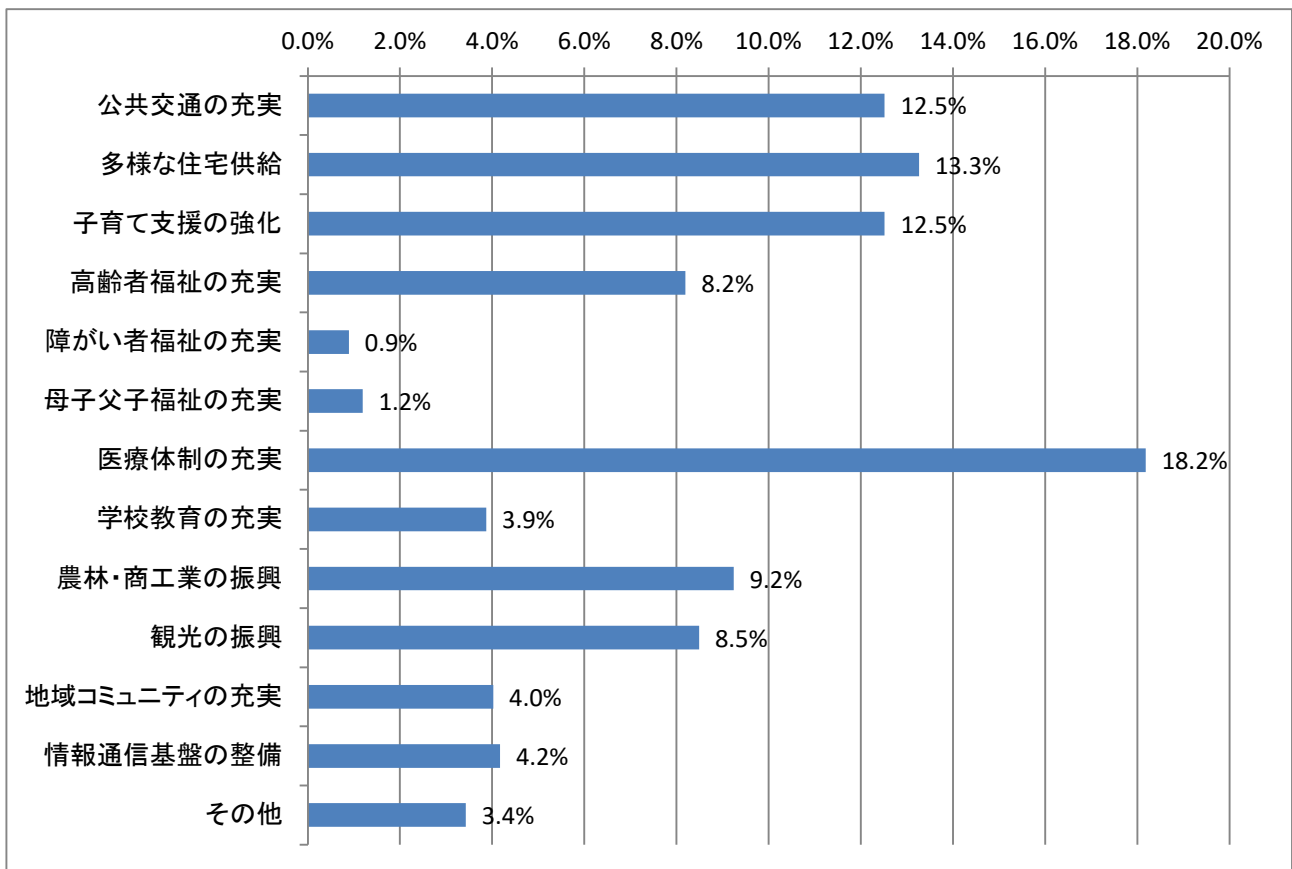


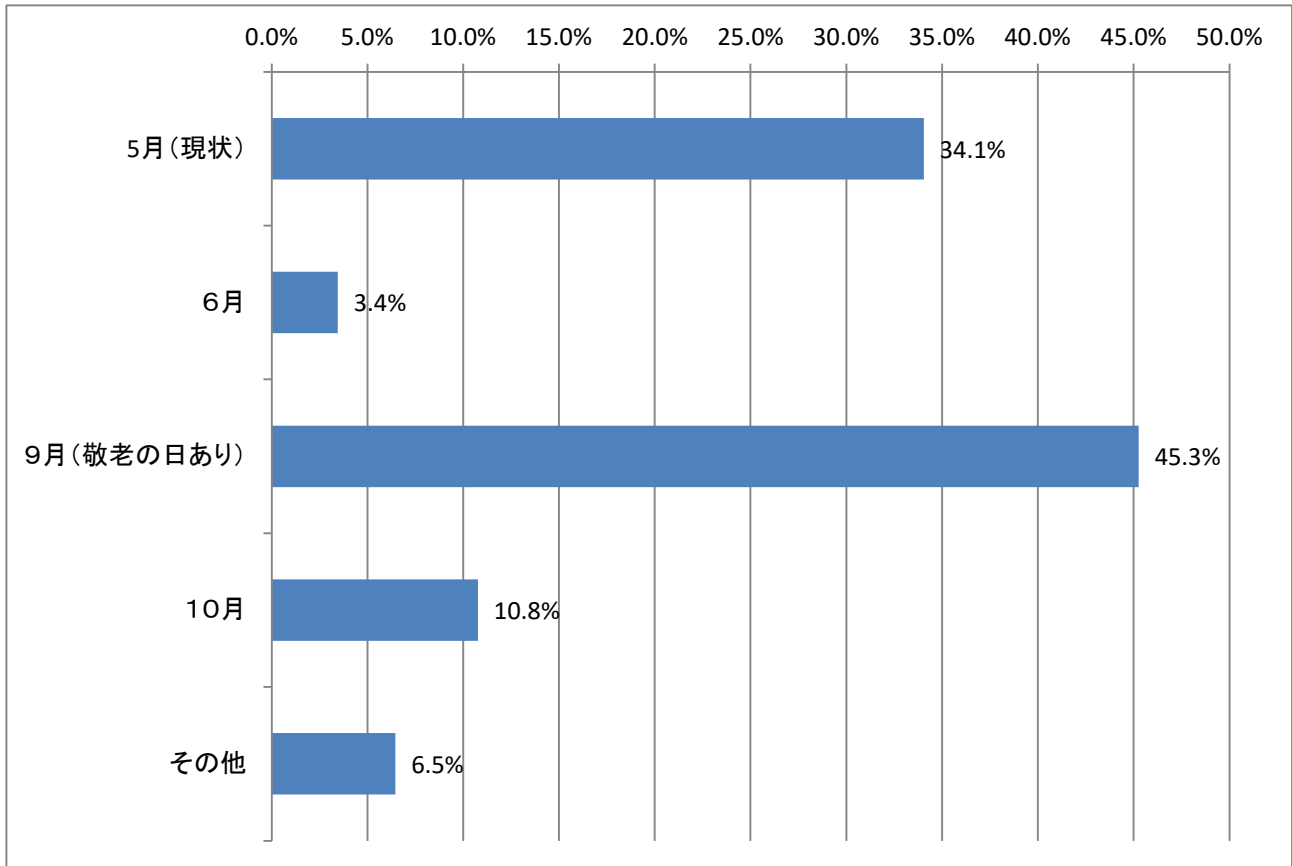
図 移住定住の取組で重要だと思うこと

#### \*その他の内容

- ・ 働く場、仕事 (30~70代 17名)
- ・ 通勤圏内も含め、働く場所とのマッチング (50代)
- ・ 店舗 (スーパー、コンビニ等) があること、民放4局 (30代)
- ・ 充電スポット (EV) (50代)
- ・ 生活の安定安心 (60代後半)
- ・ 同世代とのコミュニケーション (60代後半)
- ・ 生活基盤の安定 (70代)

## 5. 敬老式・金婚式について

### (1) 敬老式の開催時期について

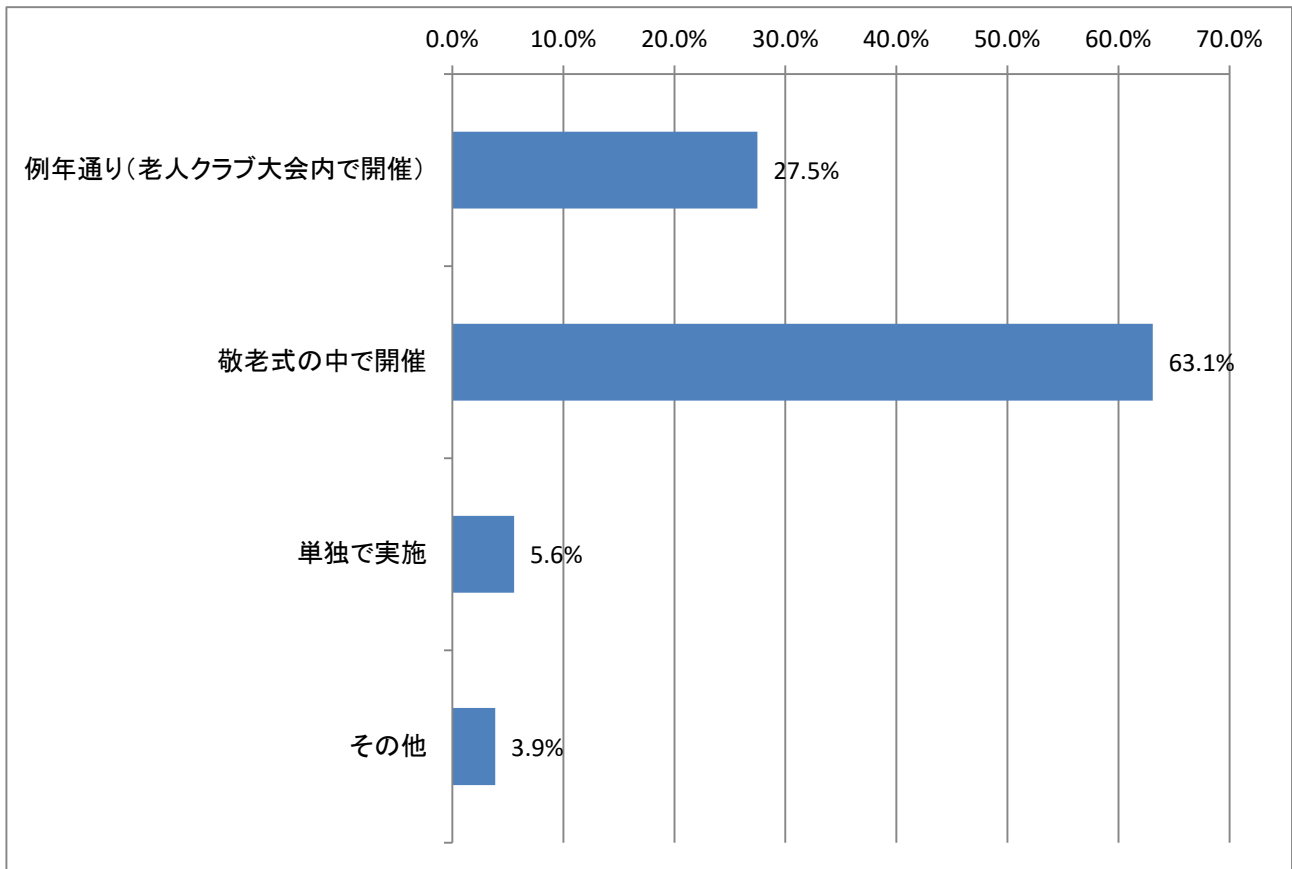


#### \*その他の内容

- ・ 高齢者にアンケートを取ってみたいと思います (30代)
- ・ 現状を見て (50代)
- ・ 判断が付きません。参加される方や参加対象者にとっていい時期(農繁期をさけた)がいいかと (40代)
- ・ わかりません (50代)
- ・ 記念品のみにする (60代前半)
- ・ 中止 (60代前半)
- ・ コロナが落ち着くまでは集合しない。その分該当者にメッセージ付きで従来の商品券等を差し上げてお祝いとするのもありでは? (60代後半)
- ・ 今年度の開催内容でいい (70代)



## (2) 金婚式の開催時期について



### \*その他の内容

- ・ 状況を見て (30代)
- ・ わかりません (50代)
- ・ 写真や記念品のみにする (60代前半)
- ・ どれでも (60代前半)
- ・ 中止 (60代前半)
- ・ 開催しなくてもよい (70代)

## 6. 情報の発信について

### (1) 情報の入手方法

普段、町のお知らせ・情報はどこから入手しているかについては、「町の広報」と「回覧板」が高い。次いで「防災無線」が49%を占めている。

年齢別にみると、30代以上は複数の手段から情報を入手しているが、10代・20代の入手手段が限られていることがうかがえる。

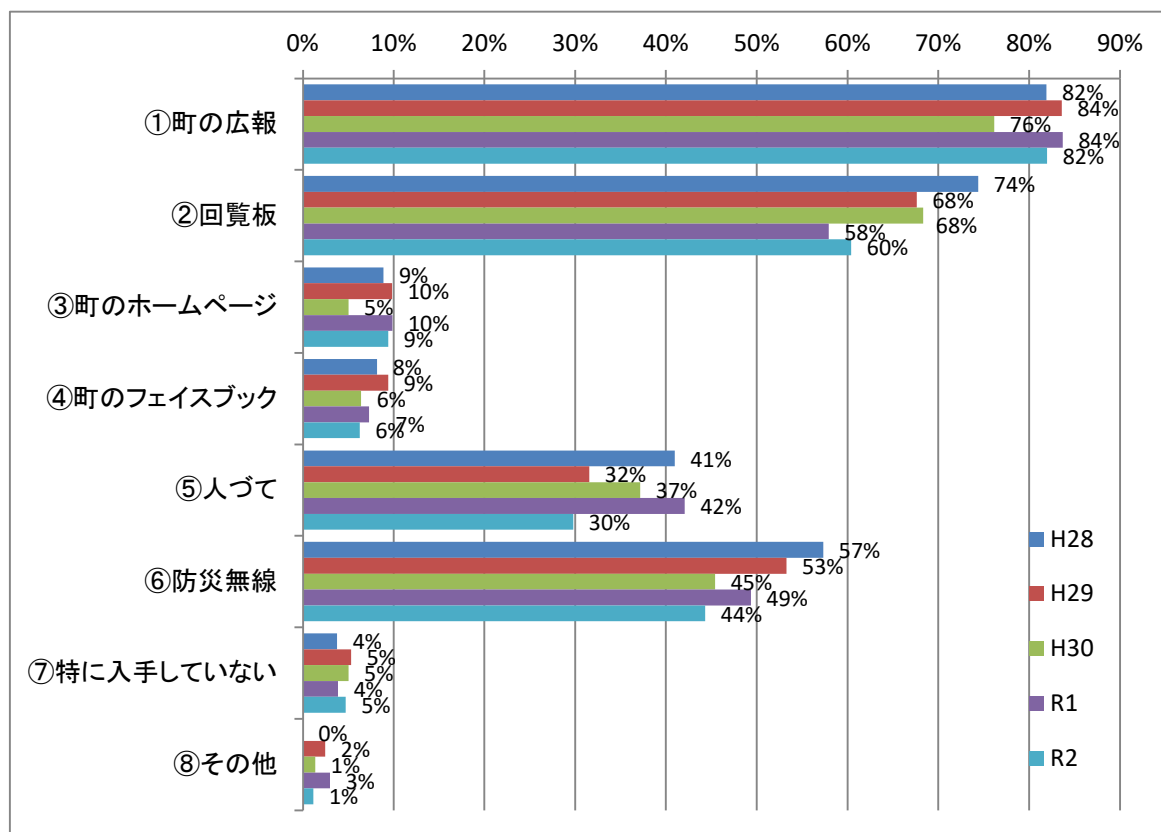


図 情報の入手方法

\*その他の内容

- ・ とんじこんじ (10代)
- ・ 家族 (10代)
- ・ インスタグラム (30代)
- ・ 行事予定カレンダー (40代)
- ・ 不必要なものが多すぎ (60代前半)
- ・ 職場での会話 (70代)
- ・ 防災無線が途中で切れて何のことかわからないことが多くなりました。(80代以上)
- ・ 新聞 (80代以上)

## (2) 「とじこじ」・「とんじこんじ」の認知度、普及度

地域おこし協力隊員が毎月発行している「とじこじ」と1年に1回発行の雑誌「とんじこんじ」を知っているかについては、平成28年度から令和元年度では認知度が高く85%以上が「知っているし、読んだことがある」と回答している。10代・20代では、知っているものの読んだことがない方が多い。

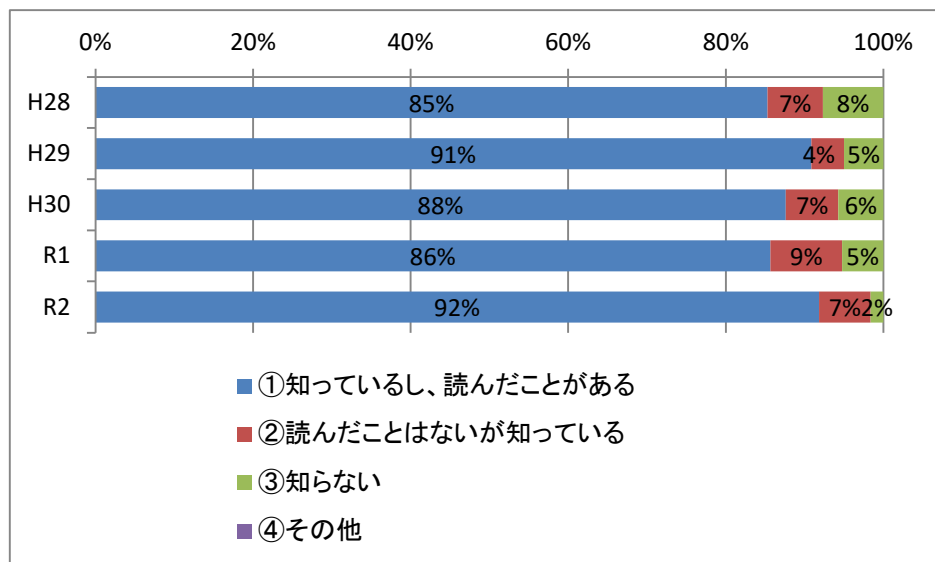


図 「とじこじ」「とんじこんじ」の認知度と普及度

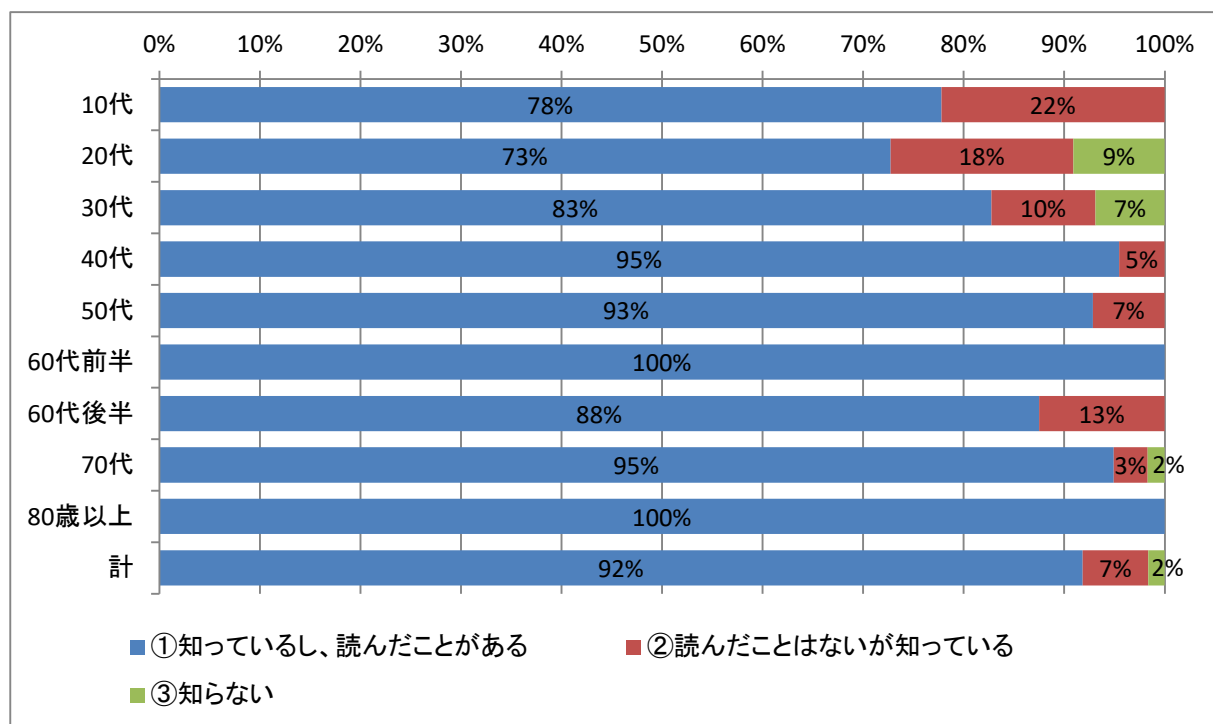


図 「とじこじ」「とんじこんじ」の認知度と普及度（年代別）

[とじこじ、とんじこんじの内容について]

<p>①満足</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤里町のことがよく分かる。(10代)</li> <li>・ 藤里町の住んでいる人が分かるから。(10代)</li> <li>・ 出歩くことが少なくなっているので、毎号楽しみにしております。(10代)</li> <li>・ 地元の人たちと違った視点で見るので、地元の良さを知ることができる。(20代)</li> <li>・ 時代の流れを理解しやすい。(20代)</li> <li>・ 様々な人のお話が大変おもしろい。(20代)</li> <li>・ 面白く読んでいますが、個人情報で怖いと思う。個人的には書かれない。(20代)</li> <li>・ 面白いから。(20代)</li> <li>・ 町の知らなかった事がわかった。(20代)</li> <li>・ 当たり前だと思っていることでも、外部の目には新鮮に映っていることがわかるから。(30代)</li> <li>・ 楽しみ。(30代)</li> <li>・ 町民のことを知れて楽しく読ませてもらっている。(30代)</li> <li>・ その人の人生観がわかります。(30代)</li> <li>・ 協力隊の方がいつどんな人が来てくれているかわかりやすい。(30代)</li> <li>・ その人となりができるような内容で楽しく読んでいます。(30代)</li> <li>・ 藤里の様子や良さがわかって、自分自身の役に立っているから。(30代)</li> <li>・ 内容に興味をそそられる。(30代)</li> <li>・ その人のいろいろな人生観が分かる。(30代)</li> <li>・ 町内に住んでいても知らない人がわかります。(30代)</li> <li>・ 地域の様子やその人の生き方等を上手に取材されている。(30代)</li> <li>・ 内容が面白い。(30代)</li> <li>・ 町の人の楽しそうな笑顔を見れたり、取組みを知ったりできるため。(30代)</li> <li>・ 普段生活していてもわからない個人の歴史や子どもたちのことなどがわかって楽しい。(40代)</li> <li>・ 様々な視点から取り上げてくれるのがおもしろい。(40代)</li> <li>・ 町民の体験を知ることによって当時の町の様子や歴史を知ることができるから。(40代)</li> <li>・ 特に「とんじこんじ」は毎年楽しみにしています！町の人々の自然な姿が見れていい。(40代)</li> <li>・ 1人の町民にクローズアップした特集が面白いから。(40代)</li> <li>・ 町外から町へやってきた方々の眸にはまらない視点がありおもしろい。イラスト、写真も多く、お年寄りにもわかりやすい。すぐろくでの紹介の号を見て、すごいと思い、楽しく見させてもらった。(40代)</li> <li>・ 内容がわかりやすく、ユーモアがあって良い。(40代)</li> <li>・ 面白いから。(50代)</li> </ul>
<p>②やや満足</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定の人を深く掘り下げて特集しているところがいいから。(10代)</li> <li>・ 町のいろいろな情報を知ることができるから。(10代)</li> <li>・ おもしろいから。(30代)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やや満足だが、自己満足にも感じる。(30代)</li> <li>・ 人それぞれの生き方を知ることができて良いと思う。(30代)</li> <li>・ その人の歴史を知ることができておもしろい。(30代)</li> <li>・ 町内の知識がないため、ためになる内容もあって面白かった。(40代)</li> <li>・ 町のお年寄りのお話は残しておきたい。(自分も高祖父の話を聞いておきたかったと思うので。)(40代)</li> <li>・ 普段の生活では知りえない人、物の情報がある。(50代)</li> <li>・ 次回はどんな方が表紙になるんだろう～と楽しみにしています。いつもありがとうございます。(50代)</li> <li>・ 字が小さすぎて読みにくい。(50代)</li> <li>・ 地域おこし協力隊員を知れたらもっと良いかな?(60代前半)</li> <li>・ 町の情報や人物像がわかりやすい。(60代後半)</li> <li>・ 町の人、こと等知らないことも多いので、ためになる記事がある。(60代後半)</li> <li>・ 自分の知らなかった出来事など知ることが楽しい(60代後半)</li> <li>・ 良い取り組みだと思います。ただマンネリ化しないこと。(60代後半)</li> <li>・ いろんな地元の人を知ることはいいことだと思います。(70代)</li> <li>・ 色々な人生がある事、今の若い人たちの知らない事、昔の事が知れて大変良いではないでしょうか。(70代)</li> <li>・ 個人情報誌の様な気がする。(80代以上)</li> <li>・ 藤里町に住んでいる人のこと、昔あったことなどを知ることができるから。(80代以上)</li> </ul>
③あまり満足していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来志向&lt;過去の思い出(40代)</li> <li>・ 特定の人が何度も出てくるので飽きる。(40代)</li> <li>・ 目的は良いと思うが、個人のPRに偏りすぎでは?読んで知って良かった、行ってみたいなどの思いが少ないかな?「へえ～」 「なるほど!!」が欲しい。(60代後半)</li> <li>・ 登場の方々は知り尽くしているから。(70代)</li> <li>・ 人の過去については関心がない。角度を変えて取材?(70代)</li> </ul>
④満足していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容が年配の方目線な気がする。もっと若者や子どもたち目線の内容にしてほしい。(30代)</li> <li>・ つまらない。発行回数が少ない。内容が貧弱。(60代前半)</li> <li>・ 個人だけでなく、広い話題を対象にしても良いのではないか?(60代後半)</li> <li>・ 高齢者の町とはいえ、もう少し若い人を取り上げてほしい。過去に頑張った人ではなく今頑張っている人を。(70代)</li> </ul>
⑤どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内だけでなく、町外にもPRしてほしい。内容はとてもいいと思います。(20代)</li> <li>・ 春夏秋冬に合わせてフリーペーパーのような形であると読者が増えるかもしれないから。(40代)</li> <li>・ 特に興味がない。(40代)</li> <li>・ 同じような人たちしか載っていない気がする。(50代)</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ふじさと新聞のような情報が欲しい。(60代前半)</li><li>・ 知り合いや友人以外に興味がない。(60代前半)</li><li>・ よくわかりません。知りたい人や分かる人には分かるのでしょうか。(60代後半)</li><li>・ もっと若い人を登場させて。(70代)</li><li>・ 小人数よりももっと多くの人に関心あることを取り上げてほしい。(70代)</li><li>・ あまり関心がない。(70代)</li></ul> |
|--|---|

## 7. まちづくりや若い世代の町への定着に関する取り組みに対するご意見やご感想

10～30代	<ul style="list-style-type: none"><li>• お店がもう少しあると便利だと思う。</li><li>• 町外からスキーをしに藤里町のスキー場を訪れる人に「スキー終わりにゆとりあの温泉に行く」流れを定着させたらいいと思います。大館、北秋田などは小さい頃からスキーをやる人が多いので、藤里町のスキー場の存在を知っている人も多いため、ゆとりあも一緒にPRすればもっと知名度が上がると思います。</li><li>• 白神山地PR 充実。</li><li>• 白神山地や無形文化財民俗芸能の駒踊りなど、すばらしいものがあるのにPR しきれていないのではと思います。</li><li>• 正しい情報の開示・自然保護の見直し。有機農業にも繋がる。現在の自然保護のやり方（温暖化など）本当に正しいのか？</li><li>• 有機農業を促進していったらどうか？ 都会の人たちも、地元の人たちも興味を持って良いのでは？</li><li>• 藤里の自然を活かしたイベントや藤里の農産物を使ったインスタ映えする料理を提供できるカフェ等、町外の若い世代が興味を持てるような取り組みはいかかですか？</li><li>• 自然のロケーションをいかしたコスプレイベントなどを行うのも面白いと思います。</li><li>• 若者が就職しやすい環境を作ってほしい。（工場など）</li><li>• 雇用の場の充実が必要だと思います。私は自然豊かで、人とのつながりが強い藤里町がとても好きです。住み続けたいと思っています。しかし、自身が実現したい夢や挑戦したいことを考えると、この町にその選択肢がありませんでした。選択肢が広がると今後の若い層の藤里町への定着が期待できるのではないかと思います。私はアルビオン白神研究所がとても気になっています。若い女性だけでなく、現在は若い男性も肌を大切にしている人が多いです。調べたところ、ラジオでは人気声優の西山宏太朗さんが宣伝していてすごいと思いました。藤里町でもアルビオンの化粧水等についても発信するのいいと思います。</li><li>• 「こみっと」や福祉の支援、いい教育環境などすばらしい取り組みもたくさんあるので、これからも頑張ってください。どのくらい実現してくれるのか今後に期待しています。</li><li>• 遊ぶ場所を増やしてほしい。</li><li>• 昔からあった公園の遊具が老朽で遊べなくなるのは残念。楽しみに行ってもロープや立入禁止などがあつたりして悲しそう。新品にしなくとも、何か子どもたちが元気に遊べるような明るい町になってほしい。家にこもりがちが増える気がします。すてきな公園がいくつもあるので、整備や手入れをしたら町外からも休日スポットになりそうだと思います。町外の公園に行くとより感じます。子どもは少ないですが、今いる子どもたちのためにも、未来のためにも。</li><li>• お金がなくて、結婚できない、子どもを作れない人たちのために支援をした方がいいです。</li><li>• 野良犬を本当になんとかして欲しい。</li></ul>
--------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな年代の人たちを交えての討論会。町や県・他の都道府県や世界、身の回りのことについて話せる場があれば。</li> <li>・ とじこじは面白いが、協力隊や駒じょプロジェクトは正直内輪だけで盛り上がっていて、外部からは入り込めない雰囲気。</li> <li>・ 藤里町だけではなく、県全体の問題ではあるが、TBS 問題（民法4局）をなんとかできないものか。今はスマホやパソコンでも見られるが、音楽番組は見られないし、そこに興味のある若者が外へ出るのも無理はない。せめて藤里もケーブルテレビ局などを作ったりして盛り上がったり、話題にしたりできないものでしょうか？今のままでは子供が大きくなって必ず外へ出したいと思います。スーパーも20時閉店だし、それだけ需要がないのも分かりますが、あまりにも不便。</li> <li>・ 保育園、幼稚園の先生を正職にして増やしてほしい。一部やる気を感じない。公務員である必要もないと思うけど、モチベーションは上げてあげないとやる気も起きないのでは？そして公務員の一部先生も「先生」ではなく「公務員」以上の仕事してくれない。民営化にできませんか？</li> <li>・ 他市町村みたいに出産祝金みたいなのもあればいいと思う。</li> <li>・ 急病で病院にかからなければいけなくても遠くて不便。日用品などを購入したくても町外でなければ手に入らないものもたくさんあるし、町内の人も普通にコンビニを利用しているので、藤里にもコンビニを作ってほしい。物がなすすぎる上に高い。子ども服やおもちゃなども町外にいかねばならず、子育てするには不便。</li> <li>・ 若者が食い付くようなイベントを実施するべき。すべてが高齢者目線で考えている。</li> <li>・ どんな町にしたいのかが全くわからないし伝わらない。今いる若い世代が定着すればそれでいいのか、移住者を増やしたいのか、町としてどうしていきたいのかが分からない。人が増えれば自然を守るのは難しくなるだろうし、今のまま維持となると人口減少は止まらないだろうし、町の方針がはっきりしていない印象なので意見・アイデアの出しようがない。町長の前文が町の方針だとするなら全く実ってない。藤里町のアンケートは質問1でほぼ特定されそうなのであまりやりたくない。</li> <li>・ 町の空き家を町で買い取り、リノベーション、リフォームをして住宅を探している人たちへ貸し出す。空き家の活用をもう少し工夫した方がいいと思う。</li> <li>・ 協力隊の人たちの仕事が簡単過ぎるというか、もう少しやるべき事はあると思う。協力隊の人たちは任期が終わればそれでいいのか？定住が目的ではないのか？例えば、町独自の作物（生わさびやクレソン）の作り方を教えてもらい、その生産量を増やして売り出してみたり、もう少し町のために働いてほしい。</li> </ul>
40～50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光場所（桜、ひまわり畑等）を増やししながら〇〇祭りの様な催事があると思います。ショップは地元の野菜や何か名物を作り販売し、多くの方に藤里へ来てもらえるようになれば良いと思います。小中一貫の学校も始まるので、色々藤里を知ってもらえるチャンスだと思います。</li> <li>・ 高校進学への二ツ井駅までの交通の便が不安。それならば子供の成長と共に住居も移した方が良いのかと悩んでしまう。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町ではこんな暮らしをしている、こんな暮らし方ができるという... 良いイメージを持てるような町のPR情報発信。</li> <li>・ 幼少期から成人になるまで、それぞれ町と関わりが持てるような活動の充実。 (伝統芸能、ふるさと教育などに触れる人口の増加を見据えた事業実施など)</li> <li>・ 仕事がなければせっかく藤里町で育った子供たちは外へ出て行ってしまいます。優秀であれば優秀であるほど、大学進学と共に戻ってこなくなってしまう。また、仕事があっても正社員でなかったり、給料が安ければ定着しない。せっかくすばらしい企業が(アルビオンさん)藤里に来てくれているので、そこでの雇用が増えてくれたり、能代にある杏林製薬や、大館にあるニプロのような大手企業が進出してこれるような努力が必要と思う。あと大学に行った子供たちが帰ってくるように、奨学金の返済を免除するとか、何か藤里に残ってメリットのある施策があったらいいと。</li> <li>・ 前回のアンケートにも書いたが、「藤里里親プロジェクト」「里親の里」にする。子は日本の宝→町の宝。自分の子どもも他人の子どもも、みんなの子ども、未来の子ども。不妊治療費、期間&lt;里親(早い、ローコスト)。年10組ずつを目標。小中学校の存続にもつながる。(ただし定住は強くない。18歳以降は自由)若い人が増えると町に活気が出る。祭りとか行事とかやりやすくなる。子育て経験者も未経験者も年10組ずつだと、相談し合える。迎える子どもたちも集団だと心細くない。すぐにできることではないので、町をあげて研修をすることから始め、5年くらいで進めていけるとよい。子どもも大人も育てていければよい。命を育てることで命を大事にする。自死を防ぐことへの底力にもつながると思う。自分のことに目を向けるより「人のため」に目を向けることで人は幸せになれると思う。</li> <li>・ 毎年、毎回同じような内容のアンケートに答えているが、結果がよくわからない。みなに知らせているのか?アンケート結果をもとに〇〇を改善したなど教えてほしい。</li> <li>・ 町外へ通勤している若い世代が、結婚などを機に町外へ住む傾向が多々ある。事情、理由は多々あると思うが、住居事情も大きな理由の一つと考える。藤里に住んだ方が特になる住宅費の補助やリフォーム補助の実施。</li> <li>・ 小学校が昔と違い、通学、放課後クラブ活動など親の手がかかりすぎるように思う。同居世帯でなければならないほど、親の手がかかることになっているように感じるので、その対策。</li> <li>・ まとまりあるわかりやすい町づくりをしてほしい。各団体まとまりがない。</li> </ul>
60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少はしかたがないが、少ないなりに文化的で景観が整った町であってほしいなと思います。→ほったらかしの立木、林、空き家を見るのは寂しい。→図書室周辺の公園化。</li> <li>・ 冬キャンプは好評だったようで、いいアイデアだと思いました。あのエリアはコンパクトに温泉、森のえき、高山、川、スキー場があるので、きれいに整備して、一人でも回って歩けるようにできたらよいと思います。“自然”のままでは客は来ないので。</li> </ul>

- 2040年問題を基に国の行政課題に取り組むと思われるが、今生まれてくる22世紀を迎える次世代に誇りを持って伝え、残していける町づくりを目指してほしい。行政機能の存続を国にあおられてやっているように見える。SDGs教育を幼児・学校教育の場で独自に取り組んでみる。100年200年後の社会と町を若い世代がしっかり考えていけるように伝えていく。
- 将来、町のために働きたいと思っている子供たちもいると思います。このまま、藤里町に住み続け、子育てをしてもらえるよう、魅力的な職場があればいいなと思います。
- 若い世代や税金を払っている方々の意見をもっと細かく聞いてみては…。高齢者世代が主に意見を述べているように感じます。若い世代が居る時間（それがたとえ、土日でも夜間であっても）に町職員がもっと動くべきだと思います。
- 若者が出ていかない、戻ってきたくなる仕事作り。IT企業の誘致。
- 今までずいぶんいろいろと考えてくれてありがとうございました。なかなかこれだ！というのないかもしれませんが、これからもあきらめないで町のためによりよく頑張ってください。
- 若い世代の仕事場がないのが残念に思います。
- 若い人たちが藤里町に定住するためには、仕事の場を増やさなければ無理だと思う。生活の安定がなければ定着場無理だと思います。
- 超一流の芸術、文化、スポーツ等へのふれあい、体験機会の構築。
- 藤里版農業専門技術指導員の配置。
- 変化対応できる、次世代のリーダーを今から育成していく事。（課題解決能力とリーダーに必要なスキルを習得）
- 藤里町の強みを発信→集客→拡大する力をつける。例えば①自然②食、水③宿泊とアクセス（課題あり）④ふれあう人のあたたかさ※実現に向けて大いに期待しております。
- 高齢者と若い世代の人たちとの交流の機会がなかなかないため、よそ者に対する警戒心があり、藤里町も都会なみになり、あいさつをしても変に見るところがある。人口が少ないので、あいさつを交わすことができれば良いと思う。相手の名は知らなくても、藤里町で会ったら言葉を交わす、あいさつをして心があたたかくなれたら。
- この町にしかないというようなブランドになれる質の良い物作り、例えば作物でもいいので作れたら魅力も生まれるのではと思います。
- 県外に行ってしまうとなかなか町に戻ってこない。仕事の関係かな？病院、ショッピング、町でできないこともある。
- 藤里町は行き止まりの町なので、もっと人を呼べる魅力のある観光等を考えると良いと思う。藤里に来ないと食べられない物、わざわざでも来なくなる食事。他県でもやっているが、四季折々の花、菜の花、梅、桜、芝桜、藤の花、ひまわり、コスモス・・・等々の公園を作るとか。温泉もあるので、温泉と食事と花、まずは女性客をターゲットにする。男性は女性が行きたいところについてくるので。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問 13 で5 つまで選ぶは 10 位までの選択があっても良いかと思う。全部我が町には必要かつ力を入れるべきものである。</li> <li>・ ホームドクター制度による健康づくりの推進。</li> <li>・ 町内に医院がなくても「こんな体調なのですが、救急車呼んだほうがいいですか。もう少し様子見た方がいいですか」と聞くことができる相談窓口が欲しいです。（電話で）特に夜間や土曜日曜祭日などです。</li> <li>・ 地域おこし協力隊の方たちに、色々な事をやってもらっていますが、何年かするといなくなってしまう。だれか一人町に定住してくれて、協力隊をまとめてくれる人がいてくれると協力隊の人もやりやすいのではないのでしょうか（町の職員も何年かすると異動になるので）</li> <li>・ 粗大ゴミをどのように仕分けして捨てたらよいかわかりません。他市町村ではかなりぶ厚いリーフレットを作成しています。秋田市のリーフレットなんか参考にして作っていただけませんか？</li> </ul>
70 代以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化など課題がありすぎて、日本の問題なので皆でガンバリましょう。現在の町の状況では農業振興が良いのではと思います。</li> <li>・ 農業の振興。資金の助成。</li> <li>・ 昔は出稼ぎが多かったが、その分今の若い人たちは町に職場がないため、県外に行ってしまう。そのためにも町に職場を設けることにより、町の活性化にもつながる。</li> <li>・ 若者が生きがいを持って働ける場所があればいい。</li> <li>・ 町直轄の事業を立ち上げ、若い人の働く場所を作ってもらいたい。ブランド品を作る、木炭、山菜種類加工品、またキャンプができるアスレチック広場等を整備することで若い人が働けるのではないですか。</li> <li>・ 藤里町に会社、仕事場を持ってくる。</li> <li>・ 若い人たちの住みたい町に。会社とか。</li> <li>・ 藤里町に若い人が定着して結婚してもらいたい。</li> <li>・ 若い人が藤里町に愛着を感じさせるためには、世代にあった企業、働く場所が必要だと思います。</li> <li>・ 二ツ井藤琴間の道路も整備されますので、我が町の世界遺産であります白神山地を大いに宣伝するための会社等を立ち上げ若者のUターンを現在家にいる若者たちが働けるようにしたらどうでしょうか。</li> <li>・ 町内でお買い物ツアーのサービスがあるそうですが、利用している人は2週間に1回では全然足りないそうです。買い物弱者が多くなっていく中、移動販売とか色々と考えていかないと大変なことになると思います。</li> <li>・ 老人の多い藤里町。1日1回ラジオ体操を放送で流したらどうかな？</li> <li>・ 空き家対策をしっかりと、空き家になった場リフォームしっかりと、内外の移住者に貸し出す。（売ってもいいと思う）</li> <li>・ 空き土地の再利用、特に畑などの空き地が目につく。</li> </ul>

- ・ 杉などの伐採が目につくが、他の樹種の大きくなり過ぎが目につく。何か利用方法は無いものか。
- ・ 町の行事、運動会、祭典等や町内会の色々な係順番で回ってくる物、自分では無理な係等押し付けられ若いころは協力してきましたが、80歳を前にしていくら当番だと押し付けられても病気やうつ等もあり、ストレスかかえ誰もいない所でゆっくりと終わりたいと考える。この気持ちこそ死に思う事の一つと考えています。昔ながらの当番制や古いやり方も良いが、それで悩み続けて暮らしている人もまわりには沢山います。常会等で話すと嫌われるのが身にしみて、声を伝えることが出来ません。苦しい。町の行事の見直しや、町内の見直し等も考える時期だと思えます。藤里町に住み続けて安心して暮らせる良いやり方見直してください。
- ・ 行政に携わる者の全ての人が（議員も）知恵を出して町民のために頑張ってください。
- ・ 同名スーパー店でも商品同じでも藤里町高い。（価格）他の区市町村観光に来てもおみやげない。（町の特産ないからかも）地域の協力隊が当町に来て、他町村に比べても悪い。別の協力出来る事があるのではない？町民の意見の聞く会議があっても良いのでは？
- ・ 「藤里町に何がありますか？」と聞かれたとき、返答に困る事がある。この町ならではの行事等を考えていけたら良いと思います。
- ・ 町に食堂（中華・そば）が無いのがちょっと不便だね！特に若い人は。
- ・ 藤里町は特に世界でも美しい地ですので、特に観光に力を入れてほしい！！
- ・ 隣の人との会話が必要です。
- ・ 私は70代で子と2人です。楽しく生活しています。小さいけれど毎日は仕事に行きます。私は病院の薬を飲んで頑張って食事を作っていますが、少し大きい仕事が町にほしいと思います。



# 藤里町の人口減少やまちづくりに関するアンケートのお願い

## 町民のみなさま

町では、平成27年度に「藤里町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問題を解決し、藤里町の特徴を生かした活力あるまちづくりや、暮らしやすく、子育てしやすいまちづくりの実現に取り組んでいます。

本調査は、計画の一層の推進を実現し、取り組みの効果や評価を把握するため、毎年実施しています。なお、今回は次期総合戦略の取り組みの参考とさせていただきたいと思っています。

また?!と思われた方、どうか今年もご協力  
いただけますようよろしくお願いいたします。

無作為に対象者を抽出しているため、毎年対象になる方もいらっしゃると思いますが、趣旨をご理解いただき、同封のアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月

藤里町長 佐々木 文明

記

【調査目的】 よりよい藤里町のまちづくりを実現するための「人口ビジョン及び総合戦略」の指標に基づく効果調査を行い、計画の更新・推進を目指す。

【対象者】 藤里町に在住する町民 500人（無作為抽出）

【回収日・回収方法】 3月29日（月）までに返信用封筒に入れてポストに投函ください。

【調査に関する問い合わせ】 藤里町 総務課 企画財政係  
〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字藤琴8番地  
TEL : 0185-79-2111

以上

# 藤里町の人口減少やまちづくりに関するアンケートのお願い

\*取り組みの効果等を把握するための経年調査です\*

## 1. あなたご自身について

質問1 年齢や性別などについて、当てはまるものに○をつけてください。

年 齢	①10代      ②20代      ③30代      ④40代      ⑤50代      ⑥60代前半 ⑦60代後半   ⑧70代      ⑨80代以上
性 別	①男性      ②女性
現在のご職業	①会社員      ②公務員・団体職員      ③自営業      ④パート・アルバイト ⑤主婦      ⑥学生      ⑦無職      ⑧その他( )
結婚の経験	①結婚している・結婚の経験がある ②結婚していない・結婚の経験はない
現在の同居人数	(ご自身を含めて)      人
現在の同居世帯の構成	①単身世帯(ひとり暮らし)      ②1世代世帯(夫婦のみ) ③2世代世帯(親と子)      ④3世代世帯(祖父母と親と子) ⑤その他( )

## 2. 藤里町への愛着について

質問2 あなたは、これからも藤里町に住み続けたいと思いますか?あてはまるものをひとつだけ選んで○をつけてください。

- |   |
|---|
| ①このままこの町に住み続けたいと思う<br>②進学や就職などで、町外に移りたいと思う<br>③進学や就職などで、町外に住んでも、いずれは藤里町に戻りたいと思う<br>④年をとったら、町外に移住したいと思う<br>⑤年をとっても町内に住みたいが、町外への移住もやむを得ないと思う<br>⑥その他( ) |
|---|

質問3 将来、あなたの子どもや知り合いなどに、藤里町に住んでほしいと思いますか?あてはまるものをひとつだけ選んで○をつけてください。

- |  |
|--|
| ①住んでもらいたいと思う      ②町外に住んでもらいたいと思う<br>③どちらともいえない      ④その他( ) |
|--|

質問4 あなたは藤里町に愛着を感じますか?ひとつだけ選んで○をつけてください。

- |   |
|---|
| ①強く感じる      ②まあまあ感じる      ③あまり感じない      ④全く感じない      ⑤分からない |
|---|

### 3. まちづくりの現状の評価について

質問5 普段のおでかけ環境について満足していますか？ひとつだけ選んで○をつけてください。

●外出時の移動手段について

- ①自家用車 ②路線バス（月・週 いずれかに○印 \_\_\_\_\_回程度利用）  
②タクシーなどの公共交通機関 ③その他（\_\_\_\_\_）

●上記で選んだ移動手段について満足していますか？

また、③～⑤を選んだ方は理由もお答えください。

- ①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④満足していない ⑤どちらともいえない  
→③～⑤を選んだ方の理由：  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

質問6 普段の生活の中で、人手不足を感じることはありますか？あてはまるものをひとつだけ選んで○をつけてください。

- ①強く感じる ②まあまあ感じる ③あまり感じない ④全く感じない ⑤分からない

質問7 「①強く感じる、②まあまあ感じる」と回答した方にお聞きします。どの分野で人手不足を感じますか？ 特にあてはまるものを3つまで選んでください。

- ①地域（集落）の役員や行事を担ってくれる人 ②冠婚葬祭を手伝ってくれる人  
③草刈りなどの地域の共同作業 ④農作業をやってくれる人  
⑤子どものお守りや見守りをする人 ⑥学校の保護者役員や行事を担ってくれる人  
⑦高齢者の見守りや日常生活を支援する人 ⑧災害時に対応してくれる人  
⑨何か困った時に、声をかけたら手伝ってくれる人 ⑩冬期間の除雪を手伝ってくれる人  
⑪その他（\_\_\_\_\_）

質問8 町では、IターンやUターンなどの移住の取組のほか、若い世代の町への定着を図るための取組を行っています。移住定住の取組で何が重要だと思いますか？特にあてはまるものを3つまで選らんで○をつけてください。

- ①公共交通の充実  
②多様な住宅供給（町営住宅・定住化促進住宅・民間アパート・空き家）  
③子育て支援の強化（母子保育・保育サービス・子育て支援・遊び場）  
④高齢者福祉の充実  
⑤障がい者福祉の充実  
⑥母子父子福祉の充実  
⑦医療体制の充実  
⑧学校教育の充実  
⑨農林・商工業の振興  
⑩観光の振興  
⑪地域コミュニティの充実  
⑫情報通信基盤の整備（インターネット等）  
⑬その他（\_\_\_\_\_）



## 4. 町の高齢者施策について

★藤里町の高齢者（65歳以上）の人口は、1,486人と全町人口の48.2%を占めており、高齢者も若い人に負けずに活躍しておりますが、身体の不自由さも感じてくる年代でもあります。そういった中、町の施策の中で、次のことについて皆さんのご意見等をお聞かせください。ご家族の高齢者の方のご意見でもかまいません。

≪「敬老式」・「金婚式」事業について≫

質問9 「敬老式」は、毎年5月10日を基準として開催しております。当町では、昨今の状況や他市町村の実施状況等を踏まえ、開催時期の見直しを検討しております。良いと思う開催時期についてひとつだけ選んで○を付けてください。

\*今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、10月に初敬老者のみで開催しました

①5月 ②6月 ③9月（敬老の日あり） ④10月 ⑤その他（ ）

質問10 「金婚式」は、毎年9月の老人クラブ大会の中で実施しております。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、老人クラブ大会が中止となり、10月に開催した「敬老式」の中で「金婚式」を実施したところ、いい反響があったことから、開催内容を検討したいと思っております。いいと思う開催方法を、ひとつだけ選んで、○を付けてください。

①例年通り（老人クラブ大会内で開催） ②敬老式の中で実施 ③単独で実施  
④その他（ ）

## 5. 情報の発信について

質問11

①町の広報 ②回覧板 ③町のホームページ ④町のフェイスブック  
⑤人づて ⑥防災無線 ⑦特に入手していない  
⑧その他（ ）

質問10 地域おこし協力隊員が毎月発行している「とじこじ」や、1年に1回発行の雑誌「とんじこんじ」は知っていますか。また、内容についてどう思いますか？

\*町のひと・もの・ことを発信し、足元にあるものの豊かさ・町の暮らしの豊かさを見つめ直しまちへの誇り・愛着を醸成しようという取組のひとつです。

①知っているし、読んだことがある ②読んだことはないが知っている ③知らない  
●読んだことがある方に質問です。内容について満足していますか？理由もお答えください。  
①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④満足していない ⑤どちらともいえない  
→理由： \_\_\_\_\_

質問 11 藤里町のまちづくりや若い世代の町への定着などに関する取り組みなどについて、ご意見やアイデアなどがありましたらご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。